

弓ヶ浜

1. 目指すべき景観像

伊豆半島が誇る白砂青松の海岸 背後のまちなみとの調和が美しい 弓ヶ浜



① 色とりどりのパラソルが溢れ賑わう海岸



② 海岸の背後地にある魅力を秘めたまちなみ

2. 地域特性と景観形成の方向性

弓ヶ浜は、「色とりどりのパラソルが溢れ賑わう海岸」と「海岸の背後地にある魅力を秘めたまちなみ」の2つの側面があるため、それぞれについて地域特性及び景観づくりを進める方向性を整理します。

① 色とりどりのパラソルが溢れ賑わう海岸

(1) 観光



夏には大勢の観光客が利用するマリンレジャーエリア

7月からの約3カ月間、それまで静かだった弓ヶ浜には大勢の観光客が詰め掛け、浜には赤、青、黄色の色とりどりのパラソルの花が咲き、カラフルで賑やかな雰囲気は一変します。

浜辺ではビーチバレーなどが行われているほか、近年、海の一部にマリンスポーツエリアが整備されたことから、サーフィンやシーカヤックが楽しめるようになり、若者の来訪も増えつつあります。また、スプラッシュウォーターパークなど、子ども達に人気のスポットもできました。

一方、陸部では、海の家が開き、飲食、物販店などが軒を連ねた賑わいのある景観が見られます。

こうした地域内外から多数の観光客が訪れるシーズン中の弓ヶ浜において、弓ヶ浜に至る正面の入口は、地域の顔とも言える場所です。観光客の安全性に配慮した上で、景観を阻害している観光案内看板等の工作物の整理などを行うことで、より印象深い玄関口としていくことが必要です。

② 海岸の背後地にある魅力を秘めたまちなみ

(1) 海岸



波音のみが聞こえる静かな海辺

約1.3kmの美しい海岸線が続く弓ヶ浜は、文字通り弓形に弧を描く海岸です。遠浅で波も穏やかであること、また景色も美しいことから人気が高く、観光シーズンには大勢の観光客で賑わいます。

しかし、そうした賑わいは、遊泳期間である7月1日から9月31日までの3カ月間で、その他の約9カ月間はイベントもあまりなく、波音のみが聞こえる静かな海辺となっています。

なお、この浜の西側にはアカウミガメの産卵地がありますが、近年その姿は見られません。

〈景観形成の主な課題〉

- ・浜への入口周辺におけるガードレールやフラワーポットなどに対する景観の配慮不足
- ・海への視界を遮る観光案内看板の立地

(2)自然



白砂青松の景観と背後の魅力を秘めたまちなみ

弓ヶ浜は、「日本の渚百選」や「日本の白砂青松百選」に選定されているとおり、その砂浜や背後に見ることができる松並木を合せた景観が高く評価されています。また、伊豆半島内においても、今井浜、白浜とともに「伊豆三大美浜」の1つに挙げられています。さらに、松並木の背後には、イヌツゲの生垣が美しいまちなみがあります。

しかし、地域住民からは、昔に比べて松林は減っているという声が聞かれます。また、一部に、シーズンが過ぎたのぼり旗や注意看板が多数掲出され、美しい景観を損ねている箇所が見られます。さらに、白砂青松の美しい景観を眺めながら、ゆっくり散歩ができるよう、ベンチの設置や綺麗なトイレの整備を進めていくことが必要です。また、のぼり旗などの景観を阻害している屋外広告物の撤去や整理を行うことが必要です。

シーズンオン・オフに関わらず、観光客を引き付けるために、浜の背後のまちなみの美しさを地域が再認識して、ゆっくりと散策が楽しめるような景観づくりの検討も必要です。

(3)地域活動



浜の掃除

「日本の白砂青松百選」などに選定されている弓ヶ浜は、浜やトイレの清掃を地元区が委託することで、継続的に手入れが行われており、シーズンオフにもその美しさを保っています。また、地域住民には浜を綺麗に維持する意識が根付いており、台風の後などには自主的にゴミ拾いをして歩く住民の姿が見られます。

こうした取組みを継続していくことで、美しい浜の景観を維持していくことが必要です。

〈景観形成の主な課題〉

- ・松並木の減少
- ・シーズンを過ぎたのぼり旗や注意看板の掲出
- ・浜の背後に位置するイヌツゲの生垣が美しいまちなみの認知不足



出典：南伊豆町観光協会 HP

地域特性や景観づくりの方向性から、景観目標と景観づくり方針を整理します。

伊豆半島が誇る白砂青松の海岸 背後のまちなみとの調和が美しい 弓ヶ浜

目標1

観光客に
満足してもらえる
浜の景観づくり



目標2

海岸と背後のまちなみ
をゆっくり散歩ができる
景観づくり



景観づくり方針

- ① 観光客を迎えるのにふさわしい魅力的な玄関口づくり
- ② 弓ヶ浜の美しい眺望を強く印象付ける景観づくり

景観づくり方針

- ① 気持ちよく散歩ができる景観づくり
- ② 観光客や住民がくつろげ、楽しめるまちなみづくり

目標1 観光客に満足してもらえる浜の景観づくり

方針1-① 観光客を迎えるのにふさわしい魅力的な玄関口づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民参加による現状把握と課題の確認 ● 浜入口に設置されているフラワーポットの改善 ● 浜入口のガードレールの景観配慮 ● 海への視界を遮る観光案内看板の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町(地域整備課)、地域住民 ● 町(地域整備課)、地域住民 ● 県土木事務所 ● 町(商工観光課)
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民参加による景観ガイドラインの策定 ● 現状把握した上での景観パトロールの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町(地域整備課)、地域住民 ● 町(地域整備課)、地域住民

方針1-② 弓ヶ浜の美しい眺望を強く印象付ける景観づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 浜の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町(商工観光課)、地域住民
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 松林の保全と手入れ ● 砂浜の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町(地域整備課)、共有地管理会、国 ● 町(地域整備課)、県土木事務所

目標2 海岸と背後のまちなみをゆっくりと散歩ができる景観づくり

方針2-① 気持ちよく散歩ができる景観づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● シーズンが過ぎたのぼり旗などの撤去 ● 複数設置された注意看板の整理 ● 浜の清掃 ● 座って海を眺めることができるベンチの設置 ● 浜の魅力を低下させている老朽化した監視やぐらなどの改修 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者 ● 事業者、町(地域整備課) ● 町(商工観光課)、地域住民 ● 町(商工観光課) ● 町(商工観光課)
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 松林の保全と手入れ ● 砂浜の保全 ● 利用しやすいトイレの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町(地域整備課)、共有地管理会、国 ● 町(地域整備課)、県土木事務所 ● 町(商工観光課)

方針2-② 観光客や住民がくつろげ、楽しめるまちなみづくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 浜の背後のまちなみ(生垣)の情報発信 ● マングローブ(日本の北限)の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町(商工観光課) ● 町(商工観光課)
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 無電柱化 ● 生垣保全ガイドラインの策定 ● 交通規制等歩行者安全対策 	<ul style="list-style-type: none"> ● 町(地域整備課) ● 町(商工観光課) ● 町(地域整備課・商工観光課)

